

2022年1月から12月までに

気管支喘息による死亡、

もしくは致死的喘息増悪*の 症例を経験されましたか？

経験されていない場合も、施設担当者のご登録をお願い致します

*致死的喘息増悪とは①日本小児気管支喘息管理・治療ガイドライン2020における呼吸不全（ $\text{PaCO}_2 > 60\text{mmHg}$ 、錯乱状態もしくは意識低下があり会話不能）、②心肺停止状態となった、③気管内挿管による人工呼吸管理を要した症例を指します。

「喘息死・致死的気管支喘息増悪(発作)の患者把握を 目的とした多施設共同研究」にご協力下さい

- ①各施設で1名、本調査の担当者をお決め下さい。
- ②対象患者がいる、いないにかかわらず、下記のQRコードからご担当者、ご連絡先、対象患者の人数などをご入力下さい。
※対象患者がいない場合は0名とご登録下さい。
- ③対象患者さんがいる場合は、改めて二次調査票をお送り致します。お手数をおかけ致しますが、ご協力頂けましたら幸いです。

各施設のご担当者様は、こちらから登録をお願い致します→

QRコードがご使用頂けない際は <https://forms.gle/dwpBCeN2wYhMx1uEA> にアクセスしてください。



一般社団法人 日本小児アレルギー学会 疫学委員会

委員長 楠 隆(龍谷大学農学部食品栄養学科小児保健栄養学研究室)

研究代表者 宮本 学(獨協医科大学医学部小児科学)

田中 裕也(兵庫県立こども病院アレルギー科)

本調査の対象となる患者さんは下記の通りです。

2022年1月1日から12月31日までに「気管支喘息増悪(発作)」で入院した。

※感染症合併の有無は問いません。

※ICD-10コード J45、J46で検索すると便利です。

はい

入院時点での年齢が20歳未満

はい

下記の除外疾患の既往がない。

《本研究での除外疾患》

- 重症心身障害児（者）
- 気道狭窄（気管軟化症など）
- 先天性中枢性低換気症候群
- 間質性肺疾患
（特発性間質性肺炎など）
- 線毛機能不全症候群
- 嚢胞性線維症
- 気管支拡張症
- 特発性肺ヘモジデロシス
- 閉塞性細気管支炎
- 先天性横隔膜ヘルニア
- 先天性嚢胞性肺疾患
- 肺悪性腫瘍

はい

下記のいずれかに当てはまる

- 来院時心肺停止状態であった。
- 人工呼吸器を使用した。
- 初期検査でPaCO₂>60mmHgであった。
- 呼吸困難による錯乱や意識状態の低下があった。

はい

**本調査の調査対象です。
ぜひご協力をお願い致します。**



登録QRコード
(おもて面のものと同じです)